

Photo Album 薫風5月新緑 吹き来る風も心地よし 神戸の散歩道で 2024.5.10.



薫風5月 Happy Spring 吹き来る風も心地よし  
桜が散って山は芽吹いて新緑に  
戸外に飛び出し、うまい空気を胸いっぱい  
勝手気ままな風来坊  
遅れましたが、風来坊 5月の記録を送ります



- ◆ 薫風5月 Happy Spring 吹き来る風も心地よし
- ◆ キャッシュレスに戸惑う毎日 失敗もまた楽し
- ◆ 故郷尼崎を舞台にした映画「あまろつく」 故郷がきれいに描かれ、うれしい
- ◆ 京都にも出かけましたが聞きしに勝る京都の街への外国人観光客のインバウンド  
このままでいいのか・・・ 伏見稲荷や祇園界隈はワンダーランド
- ◆ 文珍さんの落語的見聞録 サギと雁と木の枝 2024.4.18. 神戸新聞朝刊より転記
- ◆ 2024年5月掲載記事トピックスより  
奈良市富雄丸山古墳から出土した東アジアに類を見ない長尺蛇行剣  
文字のない空白の4世紀の謎を解き明かすか… 興味津々です



アグロステンマとは  
「畑に咲く美しい花」の意という  
花ことばは「自然を好む」  
風に揺らぐ立ち姿はまさに風来坊??  
毎春咲き出すのを待ち兼ねる花です

---

地球人としての自覚 厳しい時代を前向いて  
もう自分の時代ではないと知りつつも  
今を元気に  
毎日元気に過ごしています  
2024.5.10.  
by Mutsu nakanishi from Kobe

遅れましたが、風来坊 5月の記録  
まだまだ、天候は不安定ですが、  
桜が散って、周囲の山は芽吹いて  
新生の息吹  
真っ青な大空を吹き来る風も心地よし。  
毎日の散歩道 日々あらた  
厳しい世相ですが、毎日を元気に

薫風5月 黄砂と雷鳴轟きピンポン玉大の雹が降った春の嵐も過ぎ去って 山は芽吹いて一機に新緑  
門前のアグロステンマのも咲き出し、庭の草花も一機に華やか 吹き来る風も心地よし  
見上げる空は澄み渡り 戸外へ飛び出しリフレッシュ 嬉しいHappy Spring  
山上から春の海を見晴らす山上の散歩道 神戸に住む役得です



春の嵐が去って真っ青な空吹き来る風も心地よし いかがでしょうか

春の嵐に黄砂・花粉が飛び交って大変でしたが、桜の花が散ると周囲の野山も一機に芽吹いて新緑の時節。

春が猛スピードで駆けてもう初夏の日差しに。

もう 20 年余り門前を飾る赴任先的美祢から持ち帰ったピンクのアグロステンマの花が道行く人にも楽しめる毎年待ち兼ねる我が家の春。ツタンカーメンの豆やポピーも咲いて、

春の花で華やかに。また、伊川谷小寺の里のタケノコや地物のイチゴももう口に。

本年は、目まぐるしく変わる天候の中、バタバタしているうちに、桜・六甲のミツバツツジ・カタクリ・石楠花と続く春の花に出会いに行く時期を失って、見渡せば新緑がまぶしい時節。

青空に心地よい春の風。 春が猛スピードで駆けてゆく。

毎年原チャリで、近郊 里の春を駆け巡るのですが、昨年秋の2日続きの遠出トラブルで 今年は何となく自重しましたが、本年も近くの散歩道で見つけた春を気ままにデジカメでパチリ。

思いつくまま気の向くままの風来坊。勝手な神戸からの季節の便り。

でも、80 歳になっての春 やっぱり 今までとは違うと感じる歳に。

遅ればせながら 新緑がまぶしい薫風 5 月 神戸からの季節の便り

思いついたまま見たまま 感じたままを Photo スライド等にした 2024 年の春をお届けします。

こんな 2024 年神戸の春 家族ともども 元気に過ごしています。



2024.5.6. From Kobe Mutsu Nakanishi

◆ キャッシュレスの展開に戸惑う毎日  
こまめになれねば・・・失敗もまた楽し。



久しぶりに故郷 尼崎の映画を上映しているのを知って三宮のシネマに出かけました。

かつては大行列のチケット売り場もしづかなもの。

自動販売機の凄さをつくづく。

家内いわく「スーパーも何処もみんな自動機がずらり。すいてるとこ探すのも楽や」と。

「新幹線の安売り切符はもうないし、駅へ行けば緑の窓口は人の列。時間がかかるわ。

でも息子がスマホに入れてくれた EX カードがすごく便利やった」と。

「出かける前にスマホで時間・座席等を簡単予約して変更は出発前なら何度でも。改札はスマホに入ったコードで OK。緑の窓口の混雑避けられ、本当に助かった」と。

そういえば「王将」も回転寿司もみんな注文はタブレット相手。運ぶのもロボットの店もあり、それが面白く孫と行く店もある。風来坊の私には失敗の連続ですが、こまめに慣れないとあかんなあと思いつせと取り組む。

現在 少額買い物のスマホ Pay Pay 払いに取り込み中。好奇心に駆られて 店員さん呼んで、失敗もまた楽し。

高齢者には良くも悪くもそんな毎日ですが、街に出ると取り残されないためには必要と感じます。

私の団地のすぐそばにクルクル寿司店が出来て 1 ヶ月。

そろそろ店のシステム見に行こうかなあと。勝手気ままな風来坊「家に閉じこもってはいはならじ」

でも、スマホやキャッシュレス ひっかけも多いのでボタンは人任せにせずに現れる文字確認のご用心。

また ここ最近 熟睡の共にスマホ検索の「文珍さんの落語」を聞きながら眠るのにはまっている。

落語そのものよりも落語のまくら。本人のキャッシュレス等の失敗談・高齢夫婦の「あれ・これ会話」等々 高齢者や若者の会話に見る世相に「ふむ・ふむ」と爆笑しつつ熟睡へ お勧めです。

◆ 尼崎を舞台にした映画「あまろっく」 故郷 尼崎がきれいに描かれ、うれしい  
 ◎ 今 尼崎を舞台にした映画「あまろっく」が公開中。



市街地の半分がゼロメートル地帯の尼崎。防潮堤で周囲を守る尼崎。河の水は巨大ポンプで海へ排水。 尼崎の内港や工場岸壁へ出入りするパナマ運河方式の閘門が尼ロック。この映画もコテコテの関西尼崎物語かと思っていましたが、若い人の感性が光るさらりとひかる人情噺に。その象徴として尼ロックが描かれています。銅管製造所周辺の運河・阪神尼崎駅 大物駅や中央商店街等々南部の工場街そして尼ロックの風景もきれいに描かれています。変わりゆく尼崎 若い人たちの感性が嬉しい映画になっていました。映画館へ行く前は「どうせガラガラ」と思っていたのですが場内は満員。今話題の映画として全国区に。故郷がきれいに描かれると本当にうれしい。

この映画にはまだ小学生だった頃のジェーン台風の回想や尼ロック、それに私の中学校の名前が協賛としてエンドロールに出てきたのにもびっくり。映画の学校シーンは母校だったんだと懐かしさいっぱい。尼ロック建設を強力に進めた当時の阪本勝市長(後に兵庫県知事)の想いも頭がくるくる巡る。阪本知事には後年お世話になったことも。故郷尼崎への思い入れ一杯です。関西人の思いも一杯 ありがとうございます。



- ◎ 尼ロック 公式サイト <https://happinet-phantom.com/amalock/>
- ◎ 映画の筋書概要 映画.com より <https://happinet-phantom.com/amalock/https://eiga.com/movie/100668/>  
もう 10 数年前 和鉄の道 2009 の HP に掲載した尼ロック紹介記事です
- ◎ 「工都尼崎を支える「尼崎港閘門 (尼ロック)」 Walk 2009.2.4.  
<https://infokkna.com/ironroad/2009htm/iron5/0903amrk00.htm>

◆ 京都にも出かけましたが聞きしに勝る京都の街への外国人観光客のインバウンド

このままでいいのか・・・ 伏見稻荷や祇園境界はワンダーランド

《京都で見たインバウンドに抱いた日本の現状の妄想》  
 為替差益の金利・経済政策「賃金格差と物価の格差の課題内には見えぬ2重格差」が日本の国民を苦しめている昔と今と大きく外国観光客の広がりや観光目的の質が変わってきているとつくづく感じました。

日本人が海外に行くのに「農協の団体さん」と揶揄されていましたが、今やその逆転現象が日本で起きている。そんな感じを受ける。

「日本の状態知るには大坂難波の地下の人の群れ見ればすぐわかる」と言ったことがありますが、今やインバウンドは1・2国の話でなし。西欧・味や・南米・アフリカの人達も。しかも老若男女問わず、日本を自分の好みで楽しんでいるのが見て取れる。もうすごいなあ・・・と。日本人が海外へ広く出られるようになったのは高度成長期 円高で海外へ出て、広く円を交換して使える時代。それが今や逆転、外人観光客はみんな日本へ行けば安くて楽しめると。国際価格と日本価格 日本にいれば気がつかないが、同じ品物が海外と日本で異なる価格。これに外人たちが気付いて、どっと日本へ押し寄せている。これはもう賃金格差による二重価格が解消しなければ・・・と。



祇園・八坂神社 2024.4.11.

伏見稲荷 2024.4.11.

祇園境界はもうテーマパーク 着物を着る外国人たち ここかしこ 国も多様 ほっと外国人のテーマパーク? ファッションが似合っていると云うかも 国籍不明 実に明るくて面白い 日本人にはない楽しみ方 本当に鳥老いたと感じるインバウンド京都でした

とにかく 国際競争に勝つためにと価格を抑え、その原資を働く者の賃金抑制ばかりに求め、技術開発に目を向けなかった付けが今にあると見える。技術立国日本が音を立てて崩れ始めている。技術立国の立て直しと賃上げ売るのがなくなれば、海外へ出稼ぎに行かねばならぬ時代が来るのかなあと心配になる。

妄想であってほしいと思う。 そんな最近のインバウンド。

日本で安く買う物がなくなれば、外人観光客はまた減少するだろう。

日本の企業が海外で直面している問題も同質とみて取れる。日本企業の回帰もすでに始まっている。

エネルギー資源・食料を大量に海外から買わねばならぬ日本 技術立国日本の屋台骨が今問われている。

京都の外人観光客を眺めたインバウンドの衝撃 妄想であってほしいなあと。

2024.5.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

新緑の京都 walk 外国人加工客でにぎわう 伏見稲荷大社参詣道 & 静かな洛北 宝ヶ池



2024年4月12日朝 前日の稲荷大社参詣道を歩いた後、京都下鴨泊の翌日 今日是一日フリーに。愛宕山に登る予定でしたが、足が疲れ気味。愛宕山はきつい。家内の友人に「今新緑の宝ヶ池の散歩道 桜とミツバツツジが湖面に映えて素晴らしい」と教えてもらい、宝ヶ池へ。下鴨の北の松ヶ崎 五山の送り火「妙・法」の山の裏側の宝ヶ池へ。松ヶ崎から狐坂を越えて宝ヶ池・国際会議場から岩倉へ抜ける洛北の散歩道。近すぎて忘れかけていた散歩道。よく出かけた道ですが、本当に久しぶり。比叡山を正面に眺め、周囲を芽吹いて新緑の里山に囲まれた静かな水面にミツバツツジと桜がよく映える。やっぱり新緑の森の中に咲く自然のツツジがいい。今年は4月はじめ急変する天候で西六甲のミツバツツジの見頃を逃したのでひとしお。忘れかけていた事を次々と話題にしながらの散歩道。次々と頭を巡る。うれしい散歩になりました。京都の春も大きく様変わり。外国観光客の多さにはびっくり。京都の街のインバウンド どんな方向に動くのでしょうか・・・

2024.4.12. 久しぶりの京都Walkで Mutsu Nakanishi



## ＜桂文珍 落語的見聞録＞サギと雁と木の枝

2024年(令和6年)

4月18日

木曜日



このところ実家の庭に木の枝がよく落ちている。はて、周囲にそんな木は無いし、嵐が来たわけでもない。

何でかな？と空を見上げてわかった。

春先になると、サギが木の上に巣を作る。その巣作りのために嘴（くちばし）に小枝をくわえて飛んで来るのだが、大きい枝をくわえ過ぎてあごが疲れ、途中でポトリと落としているのだ。ナゾが解けた。

一方、世の中には驚くような詐欺事件がある。

ご存じ、大谷翔平選手の元通訳、水原一平容疑者が銀行詐欺容疑で訴追された。ギャンブル依存症で、ナ、ナント、賭けに1万9千回、勝ったのが218億円、負けたのが280億円、結果、62億円の負債。

それで大谷選手の口座から24億円以上を不正に送金したというのだから、ビックリもいいたいところ。

大谷選手は何も知らなかったし、被害者だとわかっていや実にホッとした。

一平容疑者サギはその口に大きなバットをくわえて、自分自身が司法の手にポトリ、と落ちたというわけだ。でも本人はどこかでホッとしているかもしれない。これで依存症から抜け出すことができるかも…と。一方の大谷選手はご承知のように大活躍。いい世話人、通訳に出会ってほしい。

まあ、いいパートナーもできたし大丈夫だろう。

落語「雁風呂（がんぶろ）」は、大阪の商人が貸した金を返してもらおう交渉の旅の途中、茶店に名人将監（しょうげん）・光信が描いた屏風（びょうぶ）があり、松に雁（がん、かりがね）が描かれている。松に鶴ならわかるがなぜ雁なのかと、老いた侍がお付きの者と商人に聞く。

遠い北の国から日本の青森外ヶ浜まで雁が小枝をくわえて飛んで来る途中、疲れて嘴から小枝を海の上にポトリと落とす。それにつかまって波の上で羽根を休め、また枝をくわえて飛び、浜に着いて松の木にとまり、枝を下に落とす。

春になるとまたその木をくわえて北の国に帰るが、木が残ったままに。

この本数は日本で寿命を迎えてしまった雁の数。亡くなった雁を弔うのに、残った木を集め風呂を沸かして旅人に入ってもらおうという風習の絵です、と商人が言う。

尋ねたのは水戸黄門様で商人は淀屋辰五郎の二代目。黄門様のおかげで三千両の集金できた。

「雁風呂の話一つで三千両とは高い雁（かりがね）」

「そのはず貸金（かしがね）を取りに行くのじゃ」といい噺（はなし）。

サギの落とした枝で風呂沸かしたらどうなるやろ？

（かつら・ぶんちん＝落語家）

江戸落語「雁風呂」聞いたことなし。青森県津軽地方に伝わるとされた風習の一つといい、それにまつわる伝説。

水戸黄門様で商人は淀屋辰五郎の二代目が掛川宿の旅先での話。インターネットで検索して六代目 三

遊亭 園生で聞きました。また、「サギ」から「詐欺」を思い浮かべ、DODGERSの大谷さんへ

ニコニコ 茶目っ気もある大谷さんにはみんなが好印象。頑張ってください。

また、水原さんもたちなおってほしいなあ

ここ最近 熟睡の共にスマホ検索の「文珍さんの落語」を聞きながら眠るのにはまっている。落語そのものよりも落語のまくら。

本人のキャシュレス等の失敗談・高齢夫婦の「あれ・これ会話」等々

高齢者や若者の会話に見る世相に「ふむ・ふむ」と爆笑しつつ熟睡へ

お勧めです。

◆ 2024年5月掲載記事トピックスより

4世紀の奈良市富雄丸山古墳から出土した東アジアに類を見ない長尺蛇行剣  
文字のない空白の4世紀の謎を解き明かすか… 興味津々です

「奈良市富雄丸山古墳」の記事を収拾記録して掲載しました。

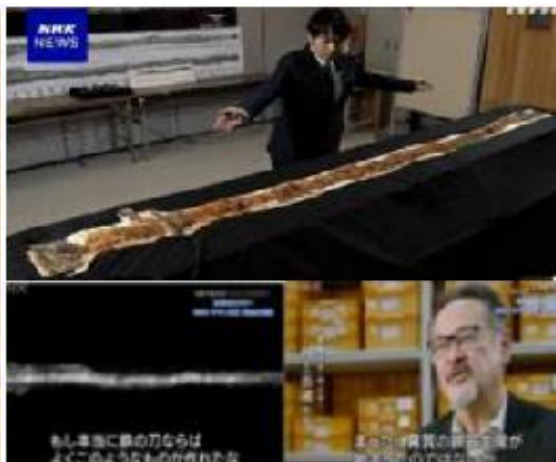
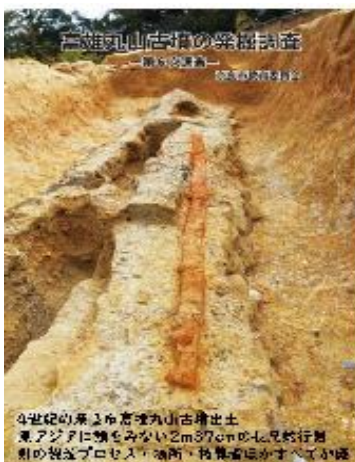
まだ、日本にまだ文字のないポスト卑弥呼の4世紀、大和初期王権時代の古墳「奈良市富雄丸山古墳」から、東アジアに類例のない国宝級と言われる長尺蛇行剣や盾型銅鏡などが出土し、古代史の大きな謎であった「ポスト卑弥呼の謎の4世紀」を解き明かしてくれるとの期待から古代史ブーム再来の感がある過熱ぶり。

この春 この「奈良市富雄丸山古墳」の発掘現場が公開されるとともに、遺跡から取り出され調査がはじまっている蛇行剣が間違いなく長さ2m37cmの蛇行剣として一般公開された。これを機会に新聞やTVでも数多くのニュースや特別番組が生まれ、センセーショナルな報道はどう見てもまだ未知なのと思う過熱ぶり。私にとっても この富雄丸山古墳の蛇行剣の素性については興味津々です。

出土例のない長尺の蛇行剣

「どんな鉄素材」を使って、「どんな鍛冶加工法」で「誰」が「何処で」「何のために」作ったのか その流れを正確にながめる為の和鉄の道・Iron Roadのベースとして整理しました。

- [1] この空白の4世紀 今判っている「奈良市富雄丸山古墳」の発掘現状を報道ニュースから憶測なく資料として整理。
- [2] HP「和鉄の道・Iron Road」にも数多くの古墳時代の始まりと製鉄技術の関連記事がばらばらに掲載してきましたので、今回 謎の四世紀にかかわると思う資料を再度読み返しつつ、リストアップ整理。



製鉄技術もまだなく、朝鮮半島に鉄素材を頼ル4世紀、  
鉄器加工の主は低温鍛打進展鍛冶の時代に  
大和王権の国造りと呼応して こんなすごい巨大鉄剣が出土するとは

「古代の鉄の歴史」にとっても古墳時代の幕開け「謎多き4世紀」

まだ、日本に製鉄技術がなく、朝鮮半島の鉄素材に頼りつつ、

原始鍛冶・低温鍛造による小さな鉄器加工が行われていたというのが通説。

朝鮮半島に近い北部九州から東から北へ大きく弧を描く日本列島。鍛冶技術の広がりもごく限定的な時代である。

そんな日本の中央 大和で 大陸・朝鮮半島でも出土例のない長尺の蛇行剣が出土した。

通説がひっくり返る新技術があったのか？ それとも大陸・朝鮮半島の何処かに技術があったのか？ 思いは様々

「どんな鉄素材」を使って、「どんな鍛冶加工法」で「誰」が「何処で」「何のために」こんな長尺の蛇行剣作ったのかは謎だらけ。まだよく判らぬまま新聞やTVで多くの人が思いを語っています。

でも 調査はまだ始まったばかり。どんな展開があるのか、興味津々で眺めています。

富雄丸山古墳から出土した長尺の蛇行剣 本間に日本で作られたのだろうか……………

日本だとしたら、先進の高温鍛冶技術のある北部九州か……………

かつて、百済から送られた七支刀の再現の特別展を見ましたが、

素材・鍛冶技術と装置と道具と実現できた温度と素材の延伸鍛造 どれ一つ欠けても無理だと。

この時代の蛇行剣の材料分析と断面分析の情報があれば、もっと絞れるのですが……………

なんせ 世界に類系のない長尺蛇行剣 興味深々で、私の持っている和鉄の道・Iron Roadの資料を再整理しました。

また 古代鉄考古学の権威 愛媛大学の村上教授は人工鉄器の始まり「隕鉄」鉄器の製作技術解明のプロジェクトに取り組むと。また、村上教授がかねてより取り組んでこられた炒鋼脱炭技術の解明が銅と同じような柔(軟)らかい鉄素材プロセス発見につながるかもと期待しています。

いづれにしても 関西に古代史ブームの再来を期待する富雄丸山古墳から出土した長尺の蛇行剣です。